

境界巡視について

岐阜森林管理署非川事務所
農林水産技官 板倉重雄
農林水産事務官 山内里美

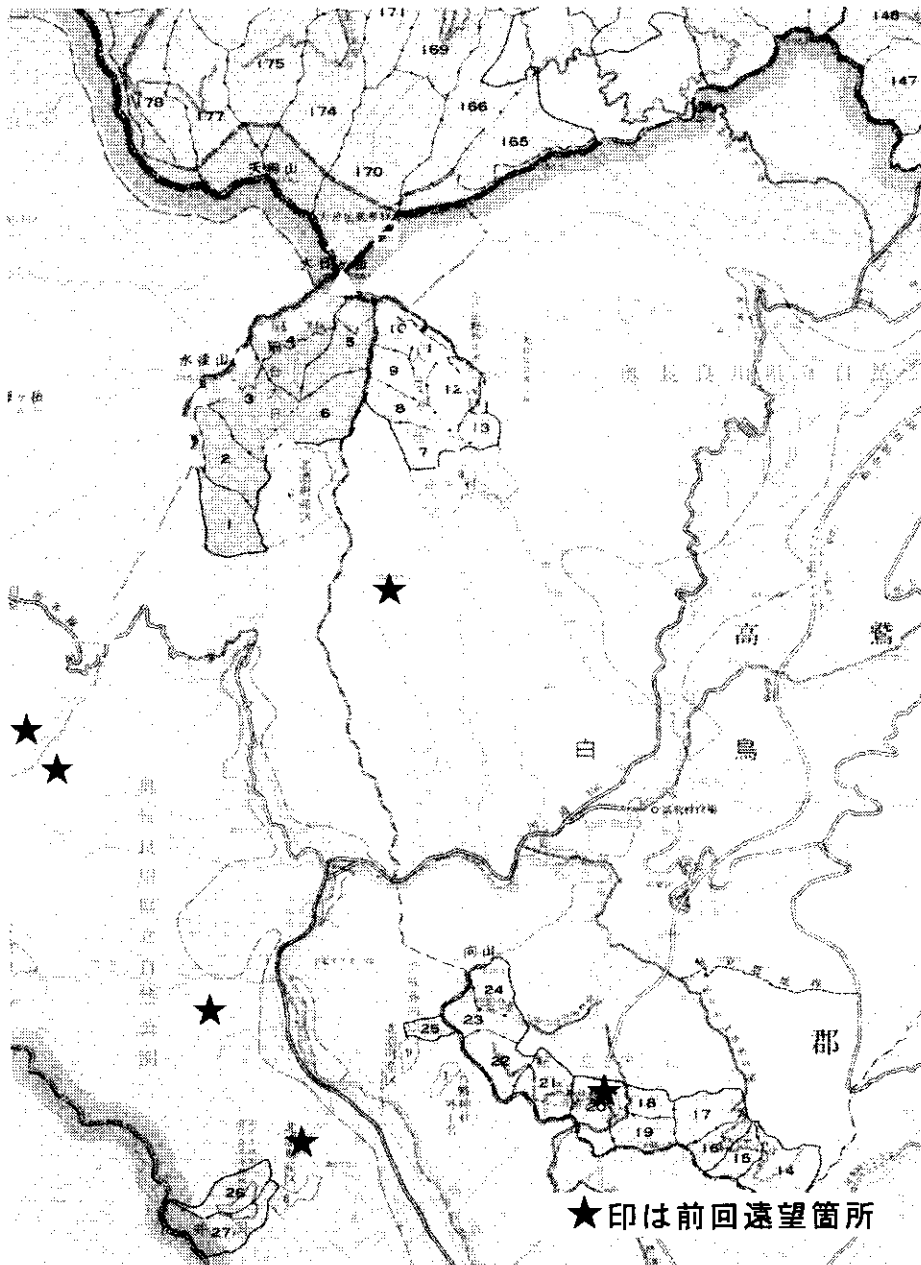
1 はじめに

新たな巡検方法の境界巡視については、境界線上を移動し確認する方法だけでなく、国有林野の境界線の状況（隣接地の伐採、開発等）を遠望等により確認することもできるようになりました。

しかし”山の位置がわからない”、”遠望する良好な箇所が少ない”等の疑問点が多く出されています。

そこで、この疑問等を少しでも解消する方法を実施したのでその結果を報告します。

2 準備



(図1)

(1) 森林位置図を用い遠望可能な箇所を検討します。

(2) 森林事務所部内で高い山(国土地理院公共座標三角点設置箇所)を目標にします。当所管内の三角点設置箇所へは登山道が大部分整備されています。

(3) 事前に役場及び森林組合等に行き隣接地等の予備情報を入手します。

(4) 携行品

① 図面(森林位置図、国有林野施業実施計画図)

② カメラ、双眼鏡など

今回は、ダイナランドスキー場から大日ヶ岳に登り松峠へ降りるコース(実行結果1、図1白色点線)と石徹

白大杉から銚子ヶ峰に登るコース(実行結果2、図面なし)で実施しました。

3 実行結果(1)

国有林名	標識点数	今回実施結果		前回実施結果(森林官)			
	延長	確認標識点数・延長	日数	箇所数	確認標識点数・延長	日数	箇所数
大目ヶ岳 国有林 (183ha)	142点	47点(33%)	1	1	0点(0%)	2	6
	4,853m	(1,699m)(35%) 4,853m(100%)			4,853m(100%)		
前谷大目 国有林 (352ha)	378点	243点(64%)	1	1	0点(0%)	2	6
	8,546m	(4,942m)(58%) 8,546m(100%)			8,546m(100%)		

注1：() は確認した標識点数に対する延長

大目ヶ岳(1,709m)には、一等三角点が設置されており、ここから遠景近景の写真撮影が可能です。大目ヶ岳国有林と前谷大目国有林を1日1箇所ですべての境界線を遠望でき標識点も確認することができました。

前回(森林官)の掛かった日数は、2日、6箇所で遠望写真を撮影しています。

今回実施結果の確認標識点数は踏査により33%となり、遠望等により確認できた延長距離は100%になります。前回は、遠望のみであるため、確認延長は100%でも確認点数は0%になります。

実行結果(2)

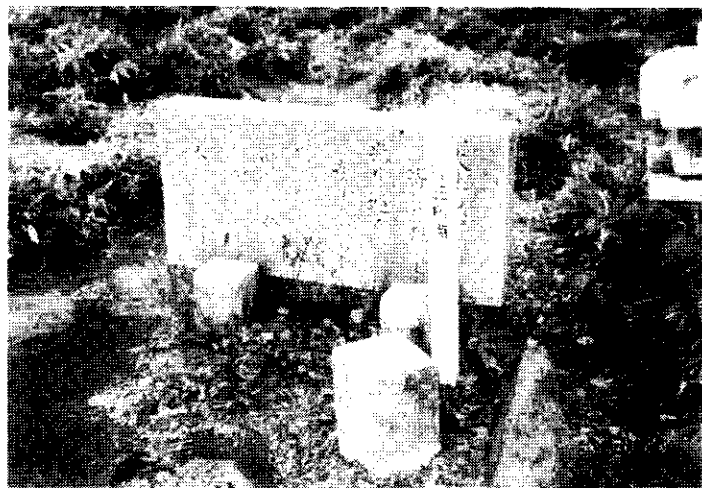
国有林名	標識点数	今回実施結果		前回実施結果(森林官)			
	延長	確認標識点数・延長	日数	箇所数	確認標識点数・延長	日数	箇所数
尾上郷 国有林 (9,480ha)	2,801点	部内全域約80%、31 点(1%)1,415m(2%)	1	1	部内全域約80% - (-) - (-)	11	13
	76,731m						

銚子ヶ峰(1,810m)には三等三角点が設置されています。尾上郷国有林を1日、1箇所で約80%の延長線と標識点31点を確認することができました。前回(森林官)は11日、13箇所において延長約80%の遠望確認となっています。

この結果から

- (1) 三角点に登れば四方の近景から遠景まで見ることができます。広範囲な写真撮影も可能です。

(写真1、4)



(写真1)

(2) 実施箇所が少なくて済みます。

(3) 高所に登る(現地に行く)ことにより、途中にある境界標の確認をすることもできます。

(写真3)

(4) 写真2のように、山頂からは境界線がはっきりわかります。

(5) 途中にある伐採開発地等の箇所も現場へ行けば直に確認することができます。



(写真2)

4 考察

(1) まずは積極的に山へ

積極的に山へ行くことがまず必要です。(基本的には可能な限り境界標に接近した地点に行く。) 分の職場はどこにあるのでしょうか。→山なのです。

(2) 日常業務の中で

日常業務の中でも境界巡視はかなり可能と考えます。(監督のついで…立ち会いのついで…)



(写真3)

(3) 柔軟性をもって

境界巡視という業務にとらわれず画一的にならず柔軟性を持ちましょう。

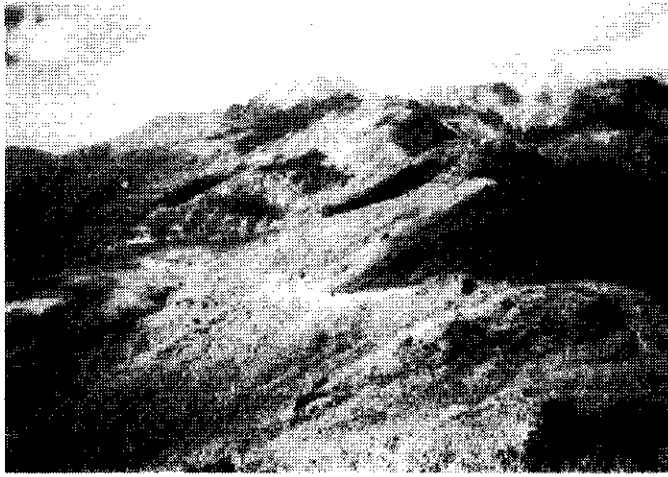
(4) 写真の整理

遠望写真の整理はこれからの業務に必要です。しっかり行うことは大切です。

また、写真はその地点にいき確実に遠望等で境界巡視をした証です。



(写真4)



5 おわりに

山は四季折々いろいろな姿を見せてくれます。山々の移り変わり、鳥や動物たちとの出会い。このような自然豊かな環境の中で仕事ができる職場は外にはないと思います。



山に向かって足を運べば、境界巡視という枠にとらわれず、自然に巡視ができるものと考えます。

山は国有林野すべての根幹なのです。

